

2021年6月12日（土）

於 海外日本語教育学会 2021年度第1回例会

B-JET 日本語教育プログラムにおける 教材開発と日本語教育的課題

～日本語教育、このままでいいの？～

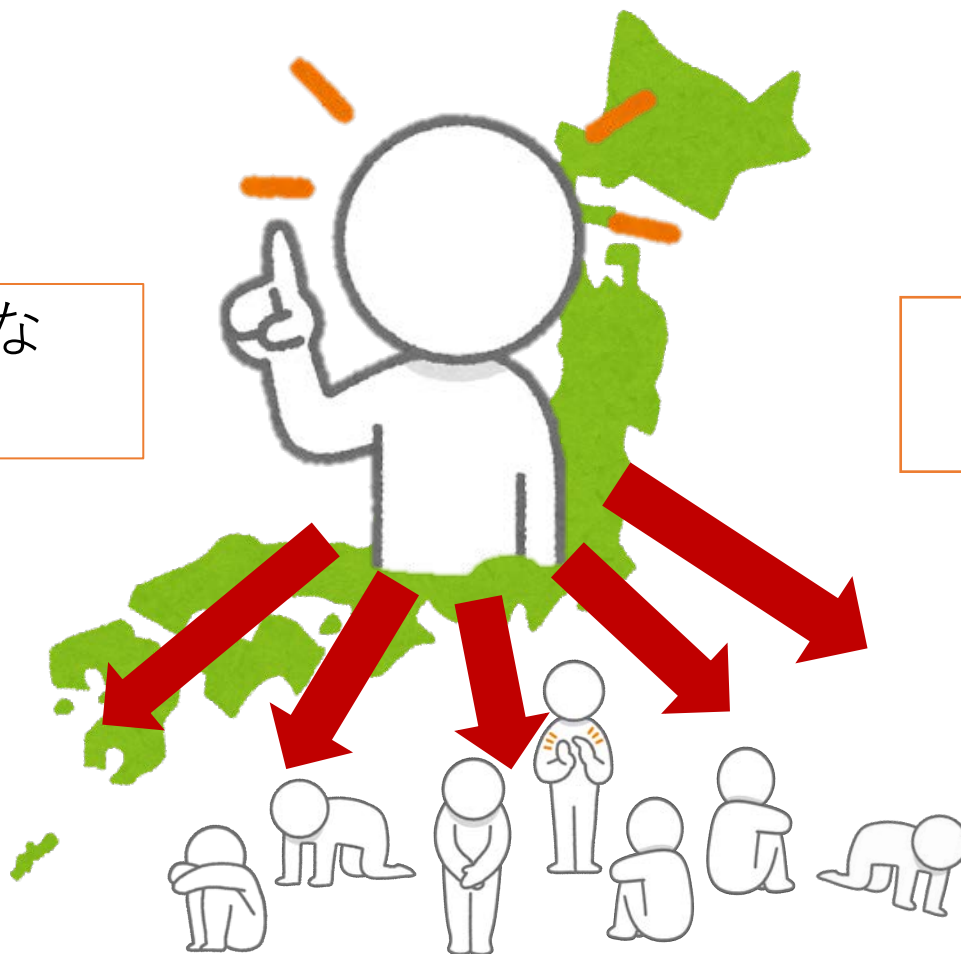
大阪大学大学院言語文化研究科

江口清子

<egukiyo@lang.osaka-u.ac.jp>

日本は本当に「先進国」なのか？

コミュニケーションな
日本語教育



国際協力としての
日本語教育

Semmelweis Ignác (1818 - 1865)



セメルヴェイス反射



参考 : <https://www.google.com/doodles/recognizing-ignaz-semmelweis-and-handwashing?hl=ja>

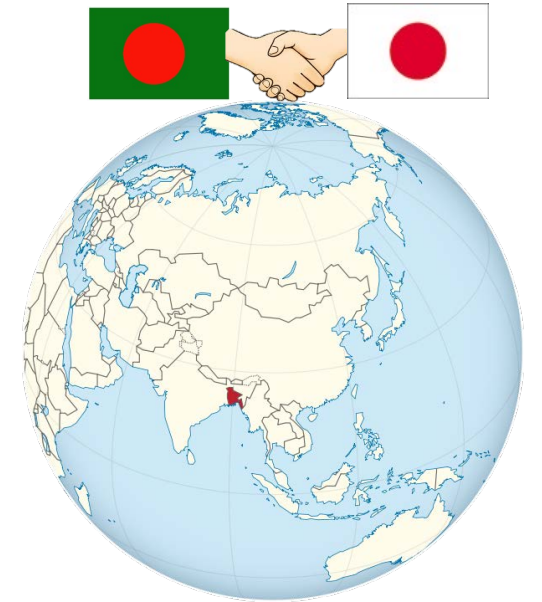
本発表の構成

1. B-JETとは？

2. B-JETの日本語教材と教育実践

3. B-JETの日本語教材開発

4. 日本語教育的課題とその解決に向けて



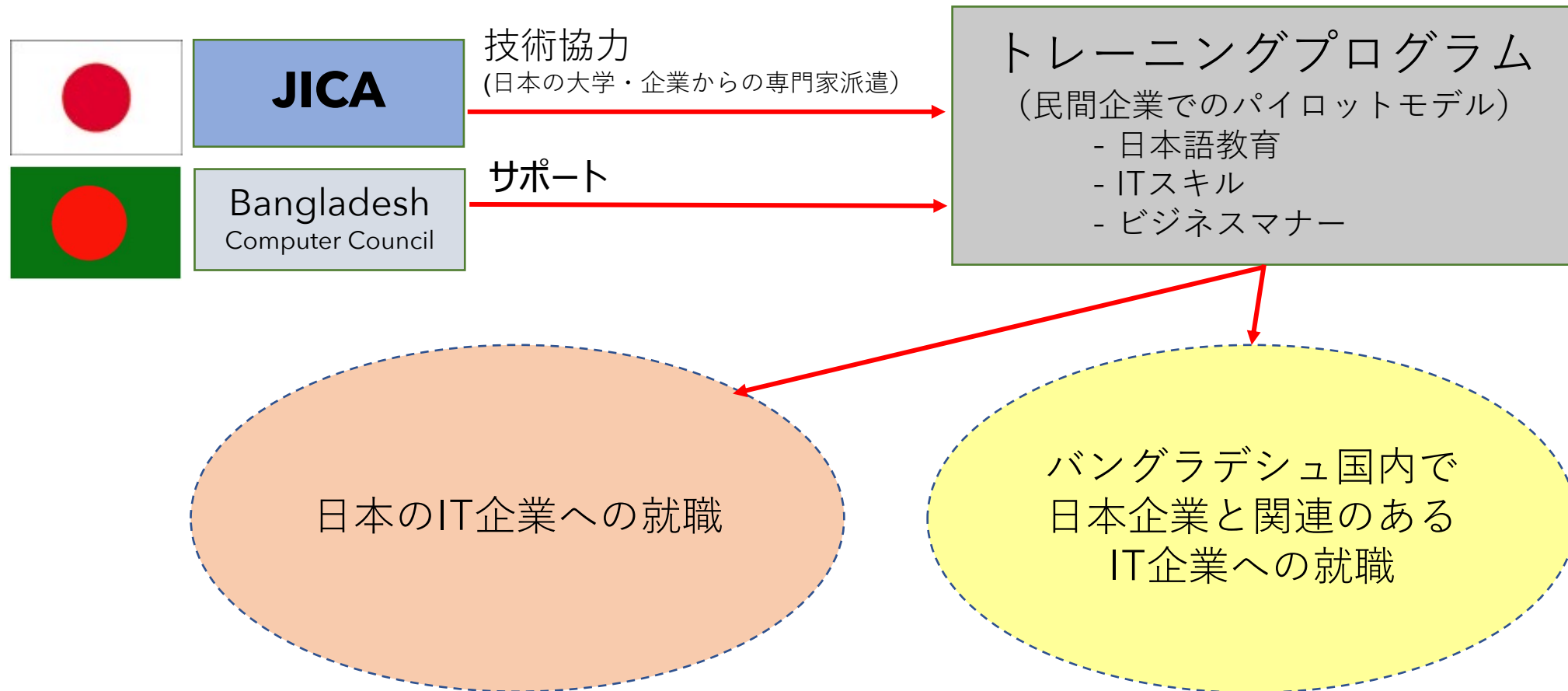
ミルザ・プランゴンさん (B-JET第4期修了生)



B-JETの概要

1. B-JETとは？

日本のIT企業もしくは日本企業と関連のあるIT企業で働くバングラデシュ人ITエンジニア育成のための日本語教育、ITスキル、ビジネスマナーのトレーニングプログラム。



南アジア 18億人の鼓動

『書道の作品が贈られました』

『すぐに使える日本語を勉強』

『書道の作品が贈られました』

課外活動のダッカ日本人学校訪問では、生徒たちが研修生の名前を漢字で書いてプレゼント。交流で日本文化への理解も深まる。

課外授業で紙馬作りを体験。顔いごは日本語で書いた。絵馬に添えた折り紙作りにも挑戦。

B-JET修了生の日本での活躍は、バングラデシュのイメージアップにも貢献しています。このプロジェクトを通じて、日本とバングラデシュの友好関係がますます深まることを願っています。

B-JETプログラム全体運営担当 森下祐樹 (もりした ゆうき) さん

2017年9月にバングラデシュに兼任。プログラムの立ち上げから携わる。

研修中、ランチタイムを楽しむ宮崎大学特別講師の江口清子さんと研修生たち。真摯な関係づくりに努めている。

B-JET研修生のブログ、フェイスブック、動画はこちら

[blog] [Facebook] [YouTube]

実践的な日本語学習として、バングラデシュで日本語で説明する動画の制作のほか、ブログやフェイスブックでの発信も行い、多様な学習方法が学びの機会につながっている。

B-JET修了生の就職先は日本全国に広がっているが、宮崎市では、市内の採用予定企業、宮崎大学の3者が連携し、独自の受け入れの仕組みである、宮崎・バングラデシュモデル（以下、宮崎モデル）を構築している。市内の企業への就職内定者は、短期留學生として来日後、最初の3か月間は宮崎大学でさらに日本語やビジネスマナーを学び、市内企業でインターンシップ（就業体験）を経験するという内容。この間日本での生活や就労に慣れるようさまざまな取り組みが用意されている。

宮崎大学では地域に根ざす国立大学として、産業を支える人材の育成、地域の産業や企業の人材の国際化を支援しており、宮崎市と

い雰囲気づくりに心がけています」と、日本語教育を担当するJICA専門家の江口清子さんは説明する。

最初の6週間は授業に集中しますが、その後は授業を受けて日本企業と面接をし、修士試験に合格してようやくダッカでのカリキュラムが始まる。修了生の約8割は日本での就職が内定し、ほかの研修生はバングラデシュ国内の日系企業などに就職する。

「高橋・バンブー・メンツェ」モデルで就職支援

B-JETとは
[Bangladesh-Japan ICT Engineers' Training Program]

B-JETは、JICAが技術協力プロジェクトの一環として実施する、バングラデシュICT人材向けの研修プログラムのこと。日本のIT企業への就職を目標として、ダッカで3か月間、日本語やITスキル、ビジネスマナーを習得する。

楽しく勉強を続けよう

バングラデシュ人の日本語教師による授業。3か月間集中して学ぶよう、習ひの要領を持たせながら実践的な授業内容にしている。

人材育成 ICT × 地方創生

バングラデシュ人の日本語教師による授業。3か月間集中して学ぶよう、習ひの要領を持たせながら実践的な授業内容にしている。

日本で活躍するIT技術者を育成

バングラデシュの若くて優秀なIT技術者が日本語などを学び、日本の企業に就職して日本の人材不足を救う。バングラデシュと日本双方の雇用問題を解決し、日本の地方にも活力を与えている。

文●久保田 真理
取材名 日本市場をターゲットとしたICT人材育成プロジェクト 2017年8月～2021年8月

日本語と企業文化の習得に励む

バングラデシュは、日本の約4割の面積に約1億6000万人が暮らす人口密度がきわめて高い国である。全国ICT化を目指す政府はICT・ソフトウェア産業を優先し、人材育成にも力を入れてきた。しかし同国では、給与面や雇用の不安定性から魅力ある就業機会が少ないという課題を抱えている。一方、日本ではICT分野の人材不足が深刻である。こうした両国の課題を解決するため、

JICAは2017年から日本のIT企業で働くバングラデシュ人エンジニアを育成する「B-JET」と呼ばれるプログラムに取り組んでいる。同プログラムでは、バングラデシュの首都ダッカで日本語、IT技術、ビジネスマナーの研修3か月間行い、これまでに174人が日本での就職を果たしてきた。

筆記試験や面接を受けて合格を勝ち取った研修生は、週5日間朝から夕方まで授業を受けて過ごす。日本語とICTに関するテストが毎日実施され、さらに出席率は85パーセント以上を求められる厳しい研修内容だ。日本でも働くことを前提にしているため、運科にもルール違反の際にはまずは現地スタッフに内容を理解してもらい、ルール的重要性も含めて教らから研修生に伝えていまして」と語るのは、プログラム全体の運営を担当するJICA専門家の森下祐樹さん。

また、授業においても研修生に寄り添う工夫を重ね、学習意欲を高める内容にしているという。歌やゲームの要素を取り込んだ実践的な日本語を学ぶ授業のほか、日本文化に親しいイベントや、バンブーメンツェを紹介する動画制作も行っています。また、研修生が教師に質問や相談をしやす

現地のメディア報道より

জাপানের তথ্যপ্রযুক্তি প্রতিষ্ঠানে চাকরি পেলেন ১৩ তরুণ

প্রকাশ: ৯:৪৪ অপরাহ্ন, ১ দিন আগে - সর্বশেষ সম্পাদনা: ৯:৪৪ অপরাহ্ন, মার্চ ৪, ২০১৮

টেক শহর কনটেক্ট কাউন্সিলর : বাংলাদেশ-জাপান আইসিটি ইঞ্জিনিয়ার্স ট্রেনিং প্রোগ্রাম (বি-জেট) অংশগ্রহণকারীদের মধ্যে থেকে ১৩ জনের চাকরি নিশ্চিত করেছে জাপান।

রোববার বাংলাদেশ কম্পিউটার কাউন্সিল (বিসিসি) ও জাপান ইন্টারন্যাশনাল কো-অপারেশন (জাইকা) আয়োজিত বি-জেট ট্রেনিং প্রোগ্রামে অংশগ্রহণকারীদের মধ্যে সনদ বিতরণী অনুষ্ঠানে এই ১৩ তরুণের চাকরি নিশ্চিত করার কথা জানানো হয়।

এর মধ্যে নয় প্রশিক্ষার্থী জাপানের প্রযুক্তি প্রতিষ্ঠান মিয়াজাকি থেকে চাকরির অফার পেয়েছেন। সেখানে তারা বিশ্ববিদ্যালয়ে পড়াশোনা ও ইন্টারন্যাশিপের পাশাপাশি কাজ করতে পারবেন। এপ্রিল থেকেই তাদের সে সুযোগ হচ্ছে।



এই নয় প্রশিক্ষার্থী হলেন মুনতাসির বিল্লাহ, রফিকুল হাসান, আরমানুর রহমান, মোহাম্মদ রায়হান রুহিন, মোহাম্মদ নকিব, ফাহিম ইসলাম মহিপ, হাজেরা মারজিয়া, ইরিন সুলতানা অনি এবং আয়েশা বিনতে সাইদ।

এ ছাড়াও টোকিওতে সারওয়ার আলম ও রজন আলী। হোকাইডোতে সুমন কুমার দাস এবং মোজাহিদুল ইসলামের চাকরি দিচ্ছে জাপানি প্রতিষ্ঠান।

তবে আরো তিন প্রশিক্ষার্থী সাক্ষাৎকার দিয়ে অপেক্ষমান তালিকায় রয়েছেন। এ ছাড়াও ট্রেনিং প্রোগ্রামে অংশগ্রহণকারী অন্যান্য প্রশিক্ষার্থীরা জাপানের বেশ কয়েকটি প্রতিষ্ঠানে সাক্ষাৎকার দেবার প্রক্রিয়ায় রয়েছেন।

Techshohor (9:44 PM, March 04, 2018)
<<http://techshohor.com/news/106032>>

জাপানে তথ্যপ্রযুক্তি খাতে জনশক্তি রফতানি করবে বাংলাদেশ : পলক

প্রযুক্তি ডেস্ক (<https://www.jagonews24.com/author/ict-desk>) © প্রকাশিত: ০৪:৫০ পিএম, ০৪ মার্চ ২০১৮ | © আপডেট: ০৪:৫৯ পিএম, ০৪ মার্চ



4.4K
SHARES



৬৫ শতাংশের অধিক তরুণ জনশক্তি নিয়ে বাংলাদেশ বর্তমানে পপুলেশন ডিভিডেন্ড উপভোগ করছে। অপরদিকে তথ্যপ্রযুক্তি খাতে বিশ্বের ওয় বৃহত্তম বাজার জাপান তাদের তথ্যপ্রযুক্তি খাতে প্রয়োজনীয় কর্মক্ষম মানুষের সংকটে ভুগছে। বাংলাদেশ সেই সুযোগটাই গ্রহণ করতে চায়। রোববার বাংলাদেশ-জাপান আইসিটি ইঞ্জিনিয়ার্স ট্রেনিং প্রোগ্রাম (বি-জেট) এ অংশগ্রহণকারীদের সনদ বিতরণ অনুষ্ঠানে প্রধান অতিথির বক্তব্যে তথ্য ও যোগাযোগ প্রযুক্তি প্রতিমন্ত্রী জুনায়েদ আহমেদ পলক এসব কথা বলেছেন।

প্রতিমন্ত্রী বলেন, ২০২১ সালের মধ্যে তথ্যপ্রযুক্তি খাতে ২০ লাখ তরুণ-তরুণীর কর্মসংস্থান ও ৫ বিলিয়ন মার্কিন ডলার আয় করার যে লক্ষ্যমাত্রা নির্ধারণ করা হয়েছে, সেই লক্ষ্য অর্জনে আমরা জাপানি বাজারের সুযোগ গ্রহণ করতে চাই। জাপানের আইটি খাতে দক্ষ জনশক্তির ঘাটতিকে সুযোগ হিসেবে কাজে লাগাতে চাই।

অনুষ্ঠানের আয়োজন করে বাংলাদেশ কম্পিউটার কাউন্সিল (বিসিসি) ও জাপান ইন্টারন্যাশনাল কো-অপারেশন (জাইকা)।



Techshohor (9:44 PM, March 04, 2018)

<<https://www.jagonews24.com/m/technology/news/413132>>

研修生の選抜

1. B-JETとは？

学期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
開始年月	2017.11	2018.02	2018.06	2018.11	2019.02	2019.06	2019.11	2020.02
応募	1,825人	4,707人	2,668人	4,002人	3,221人	3,457人	3,690人	3,419人
書類選考	234人	450人	565人	855人	969人	1,716人	1,167人	1,460人
筆記試験	154人	213人	279人	396人	377人	560人	412人	436人
一次面接	45人	87人	83人	145人	137人	114人	158人	136人
最終面接				75人	70人	61人	77人	87人
確定	20人	40人	20人	40人	40人	40人	40人	40人
選考倍率	91倍	118倍	133倍	100倍	81倍	86倍	92倍	85倍

	a	i	u	e	o
	あ	い	う	え	お
k	か	き	く	け	こ
s	さ	し ^{shi}	す	せ	そ
t	た	ち ^{chi}	つ ^{tsu}	て	と
n	な	に	ぬ	ね	の
h	は	ひ	ふ ^{fu}	へ	ほ
m	ま	み	む	め	も
y	や		ゆ		よ
r	ら	り	る	れ	ろ
w	わ				
	を。	ん _n			

第4期以降、日本語教育の専門家も同席する最終面接を実施し、日本語を短期間で学習する者としてふさわしいかどうかという観点からの評価（学習適性・時間管理能力・学習動機）

選抜過程で行った
ひらがなチェックの例

Whiteboard with handwritten text in Japanese and English, including the word "PROJECT".

Large whiteboard with handwritten text, mostly illegible.

Whiteboard with handwritten Japanese text and Romanized characters.

おはよう
o ha y o go
こんにちは
ko n ni chi wa
こんばんは
ko n ba n wa
さようなら
sa yo na ra
げんきです
ge n ki de su

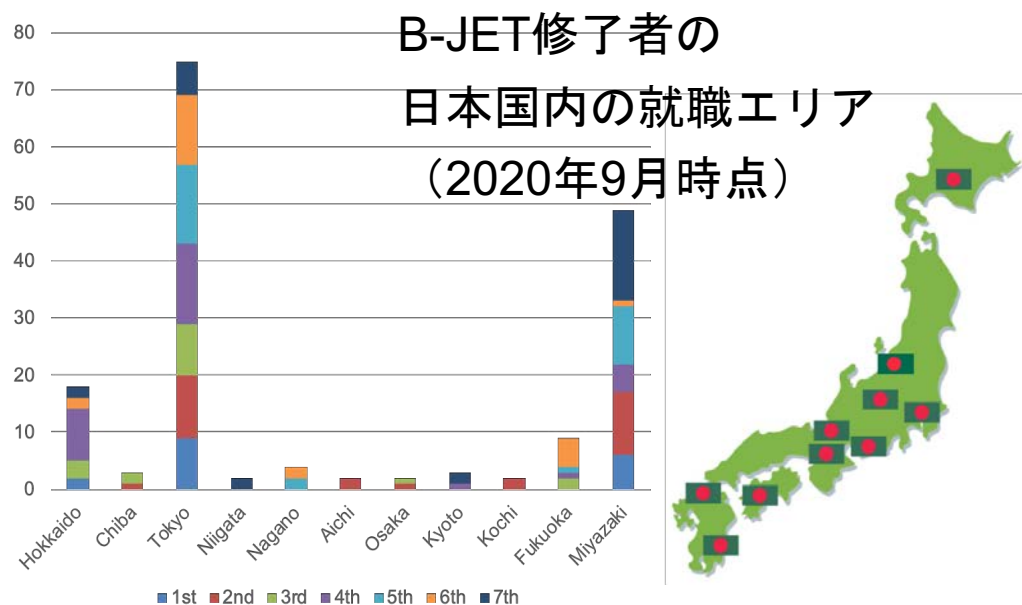


B-JET修了生の就職実績

1. B-JETとは？

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	合計
研修生数	20	40	20	40	40	40	40	40	280
修了者	20	38	19	39	38	35	39	37	265
就職決定者	20 (100%)	38 (100%)	19 (100%)	39 (100%)	38 (100%)	35 (100%)	39 (100%)	就活中	228
日本就職者	17 (85%)	28 (74%)	17 (89%)	33 (85%)	29 (76%)	22 (63%)	28 (72%)	就活中	174

B-JET修了者の就職実績（2020年9月時点）

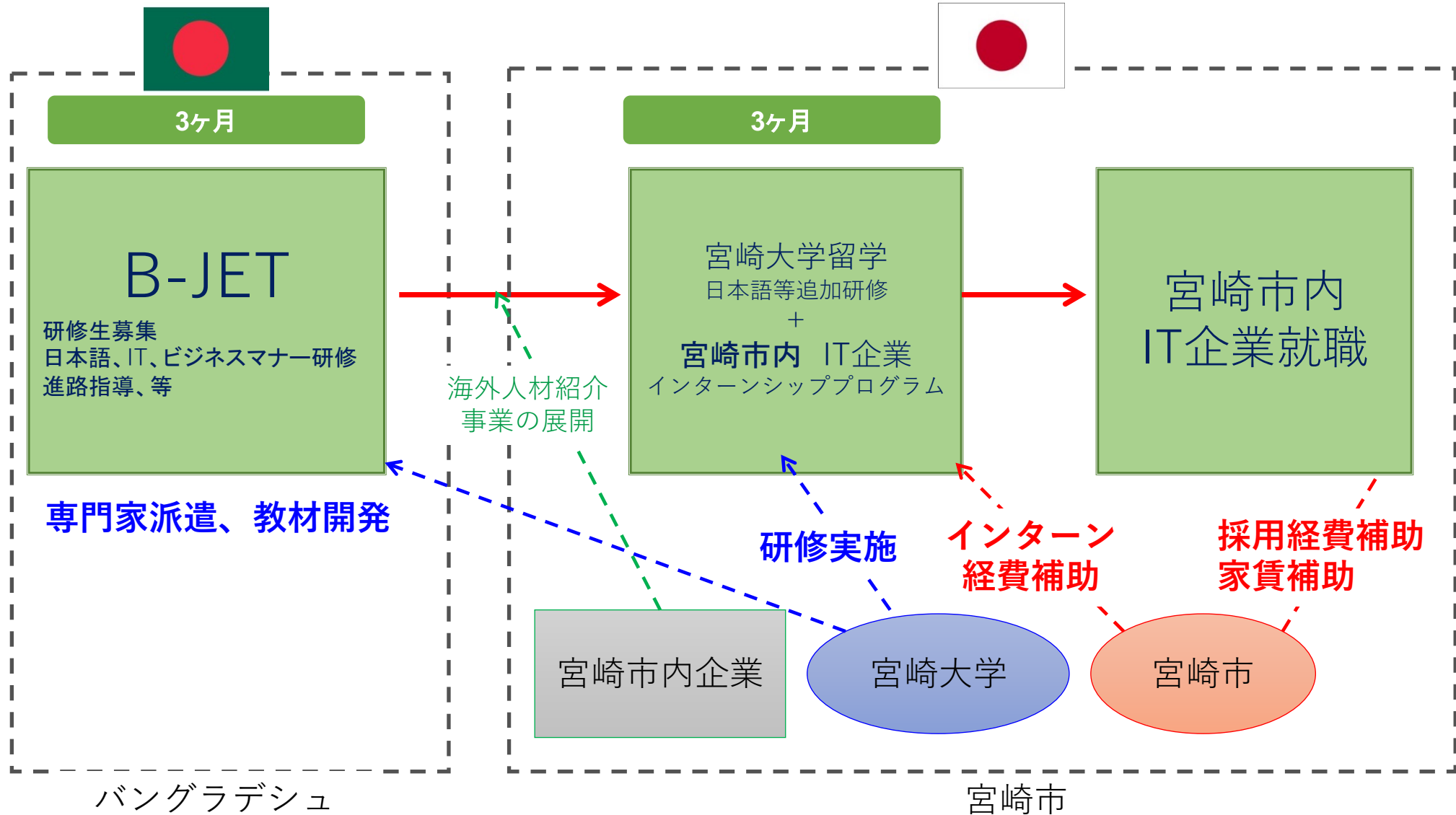


「宮崎・ Bangladeshモデル」で来日の場合：
留学ビザで来日後就労ビザに切り替え

上記以外で来日の場合：
「技術・人文知識・国際業務」の在留資格

「宮崎・バン格拉デシュモデル」

1. B-JETとは？



宮崎市移住センターHPより



<https://life-miyazaki.com/voice/sparkjapan-ramzan/>

本発表の構成

1. B-JETとは？

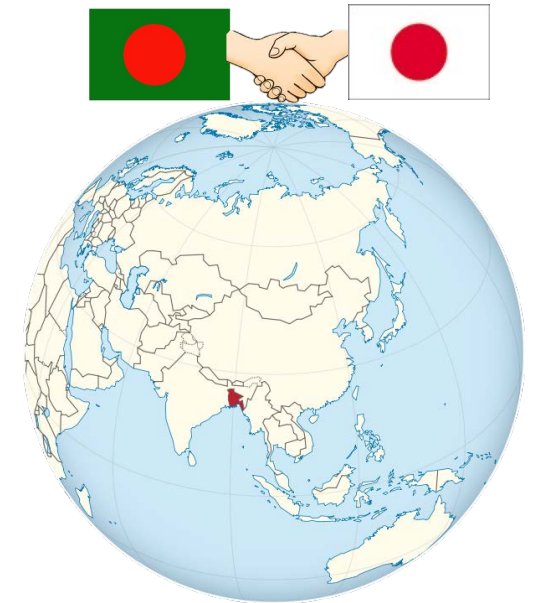
2. B-JETの日本語教材と教育実践

3. B-JETの日本語教材開発

4. 日本語教育的課題とその解決に向けて

教材はこちらのフォームから
アンケートに回答後、閲覧いただけます！

<https://forms.gle/e4gyHiz4JEKU9unn7>



メインテキストの構成

- 第1課 順との出会い
- 第2課 友達になろう
- 第3課 我が家へようこそ
- 第4課 小旅行に行こう
- 第5課 インターネットで面接
- 第6課 日本に到着
- 第7課 初任研修
- 第8課 新生活
- 第9課 会社生活
- 第10課 同僚との週末
- 第11課 安全な生活
- 第12課 初めての病院
- 第13課 仕事で充実した毎日



- 1) メインテキスト
- 2) 音声教材
- 3) 文法解説書
- 4) 教師用指導書
- 5) テスト(4種)
- 6) 文字教材(ひらがな、カタカナ、漢字)

時間割 & スケジュール

2. B-JETの日本語教材と教育実践

		日	月	火	水	木
	8:45 – 9:00	Weekly	Daily Quiz	Daily Quiz	Daily Quiz	Daily Quiz
Class 1	9:00 – 9:50	Quiz	文字	文字	文字	語彙
Class 2	10:00 – 10:50	文化紹介	語彙	語彙	語彙	文法
Tea Break						
Class 3	11:10 – 12:00	語彙	文法	文法	文法	作文
Class 4	12:10 – 13:00	文法	会話	会話	会話	会話
Lunch Break						
Class 5	14:00 – 14:50	ICT	BIZ	BIZ	BIZ	Team Meeting
Class 6	15:00 – 15:50	会話	ICT	ICT	ICT	ICT

時間割

日本語授業のスケジュール

		日	月	火	水	木
Week 1	Lesson 1	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 2	Lesson 2	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 3	Lesson 3	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 4	Lesson 4	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 5	Lesson 5	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 6	—	復習他	復習他	中間試験	発表会準備	発表会
Week 7	Lesson 6	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 8	Lesson 7	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 9	Lesson 8	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 10	Lesson 9	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 11	Lesson 10	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 12	Lesson 11	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	復習
Week 13	—	復習他	復習他	期末試験	修了式準備	修了式

メインテキスト (第7課ユニット4: 本文)

2. B-JETの日本語教材と教育実践

◆ মিটিং রুম এর অভ্যন্তরে বৈশিষ্ট্য চলাচ্ছে...

今日はこれから何をするんですか?
きょう なに

今 10時半ですね。
いま じはん
金曜日ですから、モスクに行こうと思います。
きんようび い おも

えっ? ハサンさん、今は就業時間ですよ。
いま しゅうぎょうじかん
勝手に出かけてください。
かって て

えっ? どうしてですか?

◆ ওওমরির টেবিলের সামনে হাসান ও কাতা রিপোর্ট করতে এসেছে।

ハサンさん、加藤さんの言う通りです。
かどう い とお
平日はやめて、土曜日にお祈りに行ってください。
へいじつ どようび いの い

どうして金曜日に行っはいけないんですか?
きんようび い

仕事の時間だからです。
しごと じかん

でも、ムスリムにとって、
金曜日のお祈りは、1週間で一番大切なんです。
きんようび いの しゅうかん いちばん たいせつ
どうしてもダメですか?

仕方がないですね。
しかた
じゃ、金曜日、モスクから戻ってきてから、その分残業してください。
きんようび もと ぶん ざんぎょう

えっ、残業? あっ、はい、わかりました。
ざんぎょう

それから、モスクに行く前に、必ずわたしに言ってくださいね。
い まえ かなら い

ハサンさん、「ほう・れん・そう」の「れん」ですよ。

連絡ですね。はい、わかりました。
れんらく

224

【Vocabulary】

■ Nouns

oinori	おいのり	お祈り	প্রার্থনা, নামাজ
shūgyō jikan	しゅうぎょうじかん	就業時間	কাজের সময়
musurimu	ムスリム		মুসলিম
heijitsu	へいじつ	平日	নিয়মিত কাজের দিন
*repōto	レポート		রিপোর্ট

【Additional Nouns for Religious Structure】

kyōkai	きょうかい	教会	চার্চ
jinja	じんじゃ	神社	মঠ
tera	てら	寺	মন্দির

■ Verbs

*owaru	おわる	[u]	終わる	শেষ হওয়া
zangyō suru	ざんぎょうする	[irr.]	残業する	অতিরিক্ত সময় কাজ করা, ওভারটাইম করা
yameru	やめる	[ru]		থামা, ছেড়ে দেয়া (কোনো কাজ)

【Additional Vocabulary for Condition】

onaka ga suku	おなかがすく	[u]	お腹が空く	ক্ষুধার্ত হওয়া
tsukareru	つかれる	[ru]	疲れる	ল্লাভ হওয়া
nodo ga kawaku	のどがかわく	[u]	喉が渴く	তৃষ্ণার্ত হওয়া

■ Adjectives

dame	だめ	[na]	নিষেধ
*nemui	ねむい	[i]	ঘুম ঘুম ভাব

■ Others

katteni	かってに	勝手に	নিজের ইচ্ছামতো
sonobun	そのぶん	その分	সেই অংশ
dōshitemo	どうしても		যে ভাবেই হোক, যেকোনভাবে
...ni totte	〜にとって		...এর জন্য

225

評価

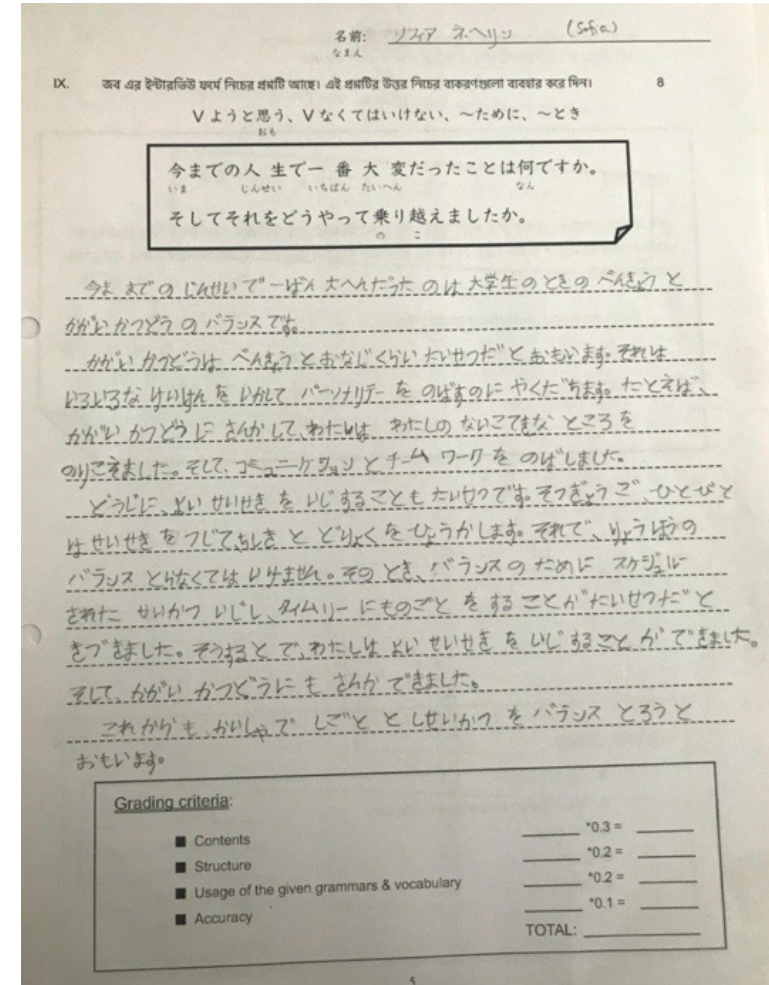
2. B-JETの日本語教材と教育実践

日本語科目の評価に用いたテストと合格点

	満点	合格点	週あたり 実施回数	合計 実施回数
Daily Quiz:	20点	16点 (80%)	4回	×11週 = 44回
Weekly Quiz:	50点	35点 (70%)	1回	×11週 = 11回
Mid-term Exam:	100点	50点 (50%)	-	1回
Final Exam:	100点	50点 (50%)	-	1回



オーラルテスト実施の様子



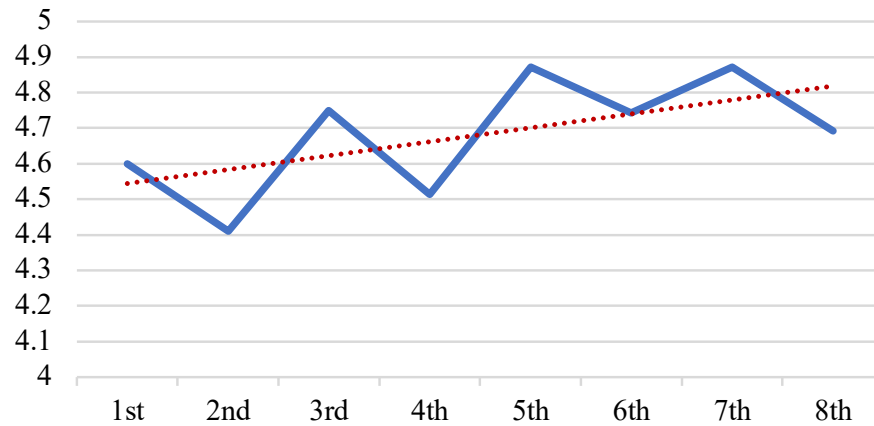
ライティングテスト回答サンプル



成果概要（アンケート調査結果）

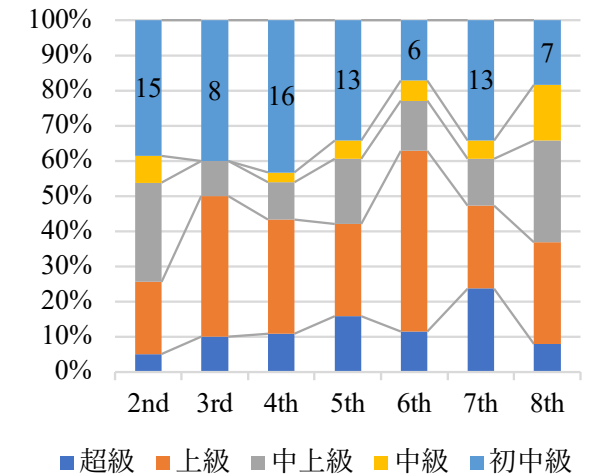
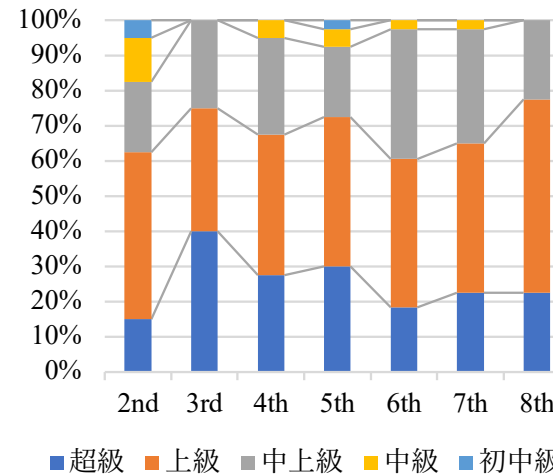
2. B-JETの日本語教材と教育実践

B-JETにおける日本語学習への満足度（5段階評価）



顧客満足度

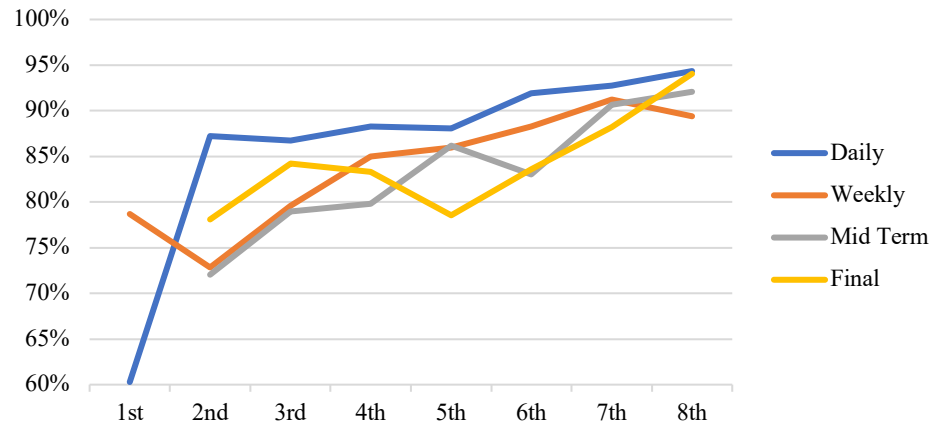
到達したい日本語のレベル： 研修前（左）と研修後（右）の比較



成果概要（各種テスト結果）

2. B-JETの日本語教材と教育実践

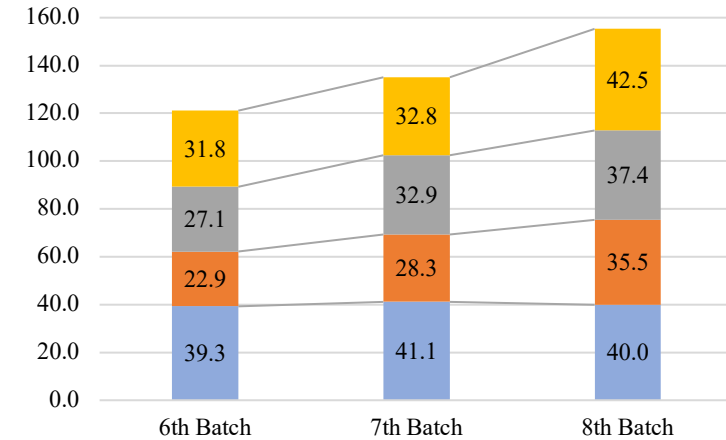
学期中に実施した日本語テストの成績（各学期の平均点）



目標達成度

設計どおりにコースが運営され、
研修生が計画的・自発的学習を実践すれば、
「N4レベル」に到達できる。

研修後のJ-CATの平均点（第6～第8期）



(< <https://www.j-cat2.org/html/ja/pages/interpret.html> >を参考に一部改変)

J-CAT	レベル	JLPT 互換
0-	初級前半	
100-	初級	
150-	初級後半	N4
200	中級前半	N3
250-	中級	
275-	中級後半	N2
300-	上級前半	
325-	上級	N1
350-	超級（母語相当）	



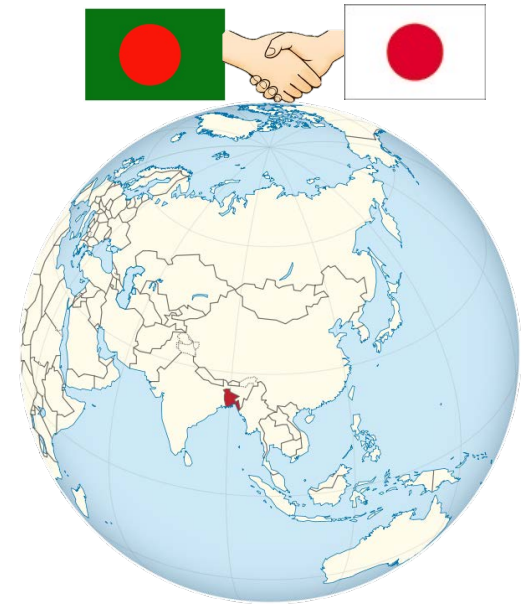
本発表の構成

1. B-JETとは？

2. B-JETの日本語教材と教育実践

3. B-JETの日本語教材開発

4. 日本語教育的課題とその解決に向けて



なぜ既存の初級教科書を使わないのか？

3. B-JETの日本語教材開発

初級日本語教材



日本語教材コンシェルジュHPより（ビジネス日本語教材の一覧）
<<http://j-os.com/japanesematerial/business.html>>

なぜ既存の初級教科書を使わないのか？

「専門日本語教育」 (春原2006, 山崎2008)

「専門日本語」とは「言葉ができるようになるための」ものではなく、「何事かをなすための、何者かになるための」ものであるために、「言語のみを取り出して鍛える」という発想には限界がある。

社会の中で「何事かをなす」ためには、他者と協働で作業を行うことが求められ、そこでは単に言語記号を受容するだけ、表出するだけではなく、「書きながら読む、聞きながら議論する」というような「複合的な」活動をしている。
(春原 2006)

「専門日本語教育」については様々な需要があるが、専門家同士の分業を可能にするためには、そうした需要にいちいち答えるというより、「相互理解と相互信頼のための共通手段」(すなわち「専門日本語の気配り」)が必要。

「多様な現実から一般論を絞り出す真の帰納的研究」こそがめざされなければならない。

(山崎 2008)

なぜ既存の初級教科書を使わないのか？

「目的別日本語教育 (JSP)」 (佐野 2009)

JSP

- 学習者の特定のニーズに合った目標設定
- 学習者の特定のニーズとゴール達成に必要な項目
- 目標達成に対し必要性の高いものを優先
- 目標達成に必要とされるスキル優先
- 学習期間、時間ともに制約あり

- 学習者主導

JGP

- 一般教養、単位取得、試験の合格
- テキストで紹介される言語構造、場面などが中心
- テキストによって予め学習項目の提出順序が決められている
- 言語の4技能をバランスよく伸ばす
- 学習期間は教育機関が設定するが、継続可能
- 教師主導

cf. 目的別英語教育 (ESP)

(Widdowson 1983, Hutchinson & Waters 1986, Robinson 1991, Dudley-Evans & St. John 1998)

なぜ既存の初級教科書を使わないのか？

「ビジネスコミュニケーション」 (近藤 2014)

「企業関係者に「ビジネス日本語」と言うと、「敬語」や「日本語」の勉強と、狭義にとらえられることが多く、実際に行われている職場内外でのコミュニケーション（会議・商談他）や、提案書や議事録作成のためのアカデミックライティングといった、広範囲な教育内容が理解されることは難しい」

「ビジネス日本語教育」 = 「ビジネス・日本語教育」

⇒ 「ビジネスコミュニケーション教育」

ビジネスコミュニケーション：

日本語を媒介語として仕事をする際に必要となるコミュニケーション

ビジネス日本語教育は中級から？

3. B-JETの日本語教材開発

ビジネス日本語教材



日本語教材コンシェルジュHPより（ビジネス日本語教材の一覧）
<<http://j-os.com/japanesematerial/business.html>>

ビジネス日本語教育は中級から？

NO! (粟飯原 2014)

なぜ初級からのビジネス日本語教育が進まないのか？

●教材不足という外的要因

⇒市販のビジネス的内容が盛り込まれたテキストをうまく利用する。

●教師の不安に起因する内的要因

⇒対応表を作成する

- ・教材で使用した語彙がJLPTのどのレベルに相当するのか、
- ・教材で使用された文法が他の主な日本語教科書のどこに出ているのか、
- ・他の教材の語彙や文法の違いは何か、など。

日本で就労しているBangladesh ICT人材に対する調査(アンケート+ヒアリング)

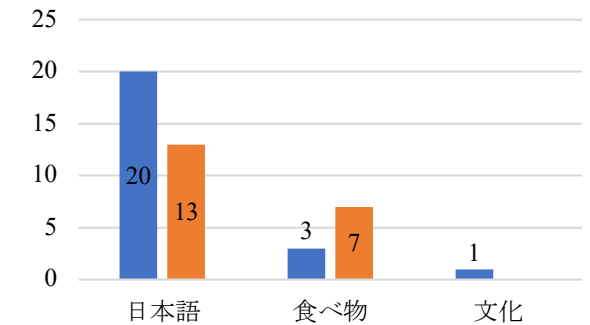
【調査目的】

- 日本人や日本企業と業務を行う際に必要な日本語を調査する。
- 国内で生活するBangladesh ICT技術者の日本語学習の背景を調査する。
- 国内で生活するBangladesh ICT技術者の日本での日常生活について調査する。
- Bangladesh人の生活スタイル等について調査する。

【質問項目】

- 日本に来てから困難な／困難だったこと(選択式・複数回答)
- 来日前に知っておくべきだったと思うこと(選択式・複数回答)

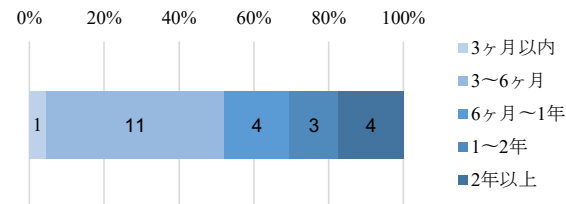
ほか、全18項目。



- 日本で生活する上で困難を感じていること
- 来日前に知っておくべきだったこと

【調査結果】

有効回答: 23名(男性のみ)
平均年齢: 34.1歳
日本語学習歴:



より困難を感じるのは、
業務面においてではなく生活面

日本で就労しているバングラデシュICT人材2名に1日密着取材

- 外国人材が社内で日本語を使う環境について調査
- 社長、OJTトレーナー、メンターおよびバングラデシュ人社員2名に対しても聞き取り調査
→ 誤解が生じた場面、困難を感じた場面等具体的なエピソードを紹介してもらい、
またそれをどのように乗り越えたかについても共有してもらった。



KJS 株式会社
教育情報サービス

株式会社教育情報サービス;KJS
(宮崎市内)にて

ニーズ調査1/2と共通する結果として、
バングラデシュICT人材が日本滞在において

より困難を感じるのは、業務面においてではなく生活面においてであり、

周囲との良好な人間関係を構築することにより、周囲に助けられながら困難を乗り越えている

という実態が明らかとなった。



メインテキストは、主人公の「ハサン」というバングラデシュ人のエンジニアを中心に展開されるストーリー仕立てになっています。これによって、ハサンがテキストの中で経験するさまざまな出来事を、研修生が追体験し、近い将来遭遇しうる場面をできるだけリアルに想像しながら学習することができます。第1課から第5課まではバングラデシュでの場面、第6課でハサンは渡日し、それ以降は日本の宮崎での場面が想定されています。

渡日しているバングラデシュ人ICTエンジニアの多くは、日本語使用という観点では、業務上よりも、日常生活で困難に直面する場面が多いようです。そのため、テキストには、日常生活の場面がふんだんに盛り込まれています。会社の中で展開される場面でも、業務で使う日本語よりも、上司や同僚との人間関係構築のために必要なコミュニケーションに焦点を当て、構成されています。つまり、研修生たちは、日本語で何というのかを覚える、というだけでなく、困難な場面をどうやって乗り切ればよいのかを、主人公と一緒に悩み考える中で日本語能力も身につけていくことが期待されます。

また、バングラデシュを舞台に展開される場面は不要だと思われるかもしれませんが、まったく新しい外国語や文化と出会い、すべてが新しい状況の中、自分の殻を破ってコミュニケーションを行う、というのはかなりハードルが高いことです。そのため、研修生が簡単に想像できる身近な場面から出発し、徐々に世界が広がるように工夫されています。

従来型の教材は文法構造シラバスを軸にした構成の各項目に場面性を持たせているものが一般的ですが、本書は、**コミュニカティブアプローチの言語学習観を背景に、言語のもつ機能や概念を軸に文法を捉えている**という点で、従来のものとはまったく異なる性格を持ちます。従来型の教材での学習では、知識だけが膨大に積み上げられるものの実践場面ではまったく使えなかったり、文法練習のための無意味な文を産出させられ、学習継続に意欲が沸かなかつたりしますが、本書での学習は、**初日から使える日本語にこだわって配列**されており、このような心配は無用です。さらに、第13課を終了した時点で、JLPTのN4に出題されるレベルの文法項目は網羅しているため、正しく学習されれば、問題なくN4にも合格することができます。**ただし、、、**

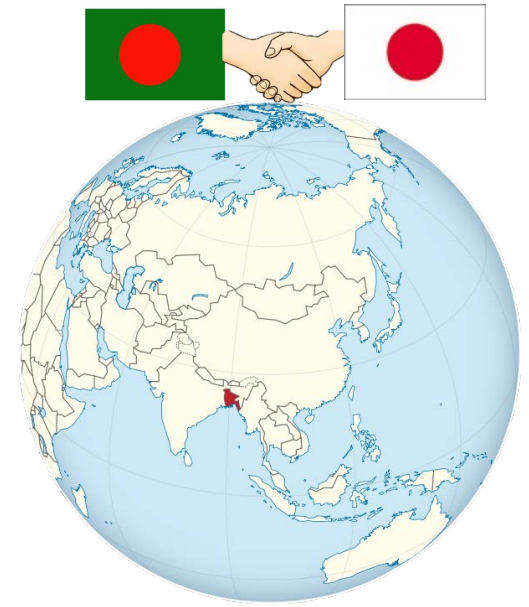
本発表の構成

1. B-JETとは？

2. B-JETの日本語教材と教育実践

3. B-JETの日本語教材開発

4. 日本語教育的課題とその解決に向けて



- 自己主導型学習を実践していかなければ日本語教師の限られた知識内でしか専門性を発揮できない学習者を生み出し続けてしまう。 (伊藤 2014)
- ノーショナルなアプローチに基づいてシラバスや教材を作成してそれを実際の教育現場に供すると、構造中心の考え方を持つ教師の手にかかると実際の教育実践は、単に新たな種類の言語構造の指導となる。 (西口 2017)

本来のゴール：コミュニケーション能力（白井 2012）

- (1) 文法能力（音声・単語・文法的能力） ← JLPT ではここしか測れない！
- (2) 談話能力（1文以上をつなげる能力）
- (3) 社会言語学的能力（社会的に「適切」な言語を使う能力）
- (4) 方略的能力（問題が起こったときに処理する能力）

効果的な学習法 (Dörnyei 2001)

- (1) 言語の本質に合った学習法 ← 言語に関する知識
- (2) 言語習得の本質に合った学習法 ← 言語習得に関する知識
- (3) 個々の学習者の特性に合った学習法 ← 学習者心理に関する知識

教師養成は必須であり、かつ急務



また、授業においても研修生に寄り添う工夫を重ね、学習意欲を高める内容にしているという。「歌やゲームの要素を盛り込んだ実践的な日本語を学ぶ授業のほか、日本文化に親しむイベントや、バングラデシュを日本語で紹介する動画制作も行っています。また、研修生が教師に質問や相談をしやすい雰囲気づくりにも心がけています」と、日本語教育を担当するJICA専門家の江口清子さんは説明する。

B-JET 修了生の日本での活躍は、バングラデシュのイメージアップにも貢献しています。このプロジェクトを通じて、日本とバングラデシュの友好関係がますます深まることを願っています。

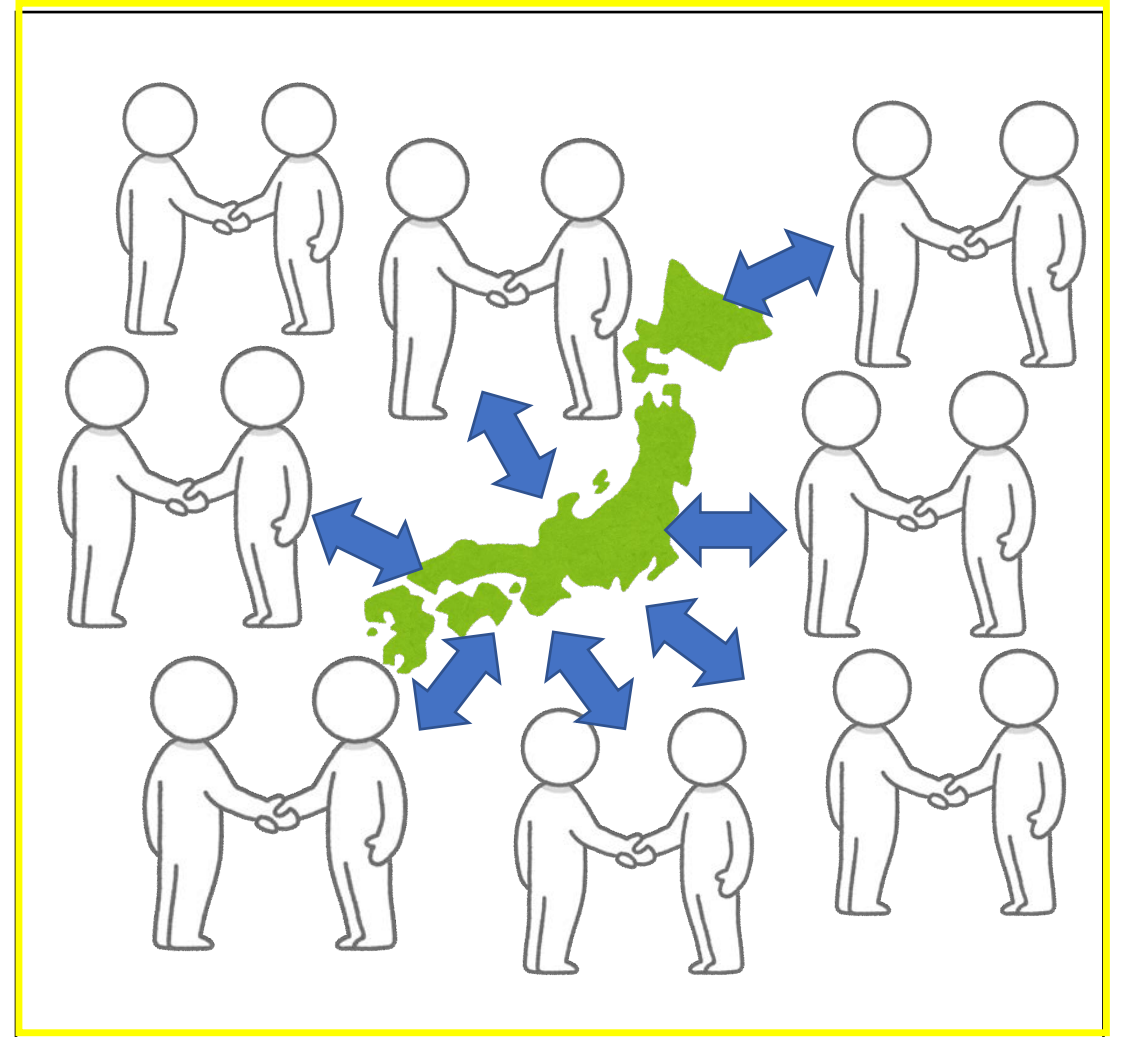
B-JETプログラム全体運営担当 森下祐樹 (もりした ゆうき) さん
2017年9月にバングラデシュに赴任。プログラムの立ち上げから携わる。

研修中、ランチタイムを楽しむ宮崎大学特別講師の江口清子さんと研修生たち。質問しやすい関係づくりに努めている。

B-JET 修了生の就職先は日本全国に広がっているが、宮崎市では、市内の採用予定企業で、宮崎大学の3者が連携し、独自の受け入れの仕組みである「宮崎バングラデシュモデル」以下、宮崎モデルを構築している。市内の企業への就職内定者は、短期留学生として来日後、最初の3か月間は宮崎大学でさらに日本語やビジネスマナーを学び、市内企業でインターンシップ（就業体験）を経験するという内容だ。この間、日本での生活や就労に慣れるようさまざまな取り組みが用意されている。

宮崎大学では地域に根ざす国立大学として、産業を支える人材の育成、地域の産業や企業の振興、国際化を支援しており、宮崎市と

真の国際協力を目指して日本語教育が果たすべき役割



ご清聴ありがとうございました。



参考文献

- 栗飯原志宣 (2013). 「初級からのビジネス日本語教育-香港の大学生を対象としたコースを事例に-」 『専門日本語教育研究』 第15号, p.13-18.
- 伊藤秀昭 (2014). 「専門日本語教育における自己主導型学習の可能性-学習者による“私の専門語彙の抽出リスト化-」 『専門日本語教育研究』 第16号, pp. 23-28.
- 近藤彩 (2014). 「日本語非母語話者と母語話者が学びあうビジネスコミュニケーション教育-ダイバーシティの中で活躍できる人材の育成に向けて-」 『専門日本語教育研究』 第16号, pp.15-22.
- 佐野ひろみ (2009). 「目的別日本語教育再考」 『専門日本語教育研究』 第11号, 9-14.
- 白井恭弘 (2012). 『英語教師のための第二言語習得論入門』 大修館書店.
- 西口光一 (2017). 「コミュにカティブ・アプローチの超克-基礎日本語教育のカリキュラムと教材開発の指針を求めて-」 『リテラシーズ』 20, pp.12-23.
- 春原憲一郎 (2006). 「専門日本語教育の可能性 -多文化社会における専門日本語の役割-」 『専門日本語教育研究』 第8号, pp. 13-18.
- 山崎信寿 (2008). 「専門日本語の気配り」 『専門日本語教育研究』 第10号, pp. 19-24.

参考文献

- Dörnyei, Z. (2001). *Motivational strategies in the language classroom*. Cambridge University Press: Cambridge
- Hutchinson, T. & Waters, A. (1987). *English for Specific Purposes*. Cambridge University Press: Cambridge
- Kumaravadivelu, B. (2006). *Understanding language teaching*. Mahwah: Lawrence Erlbaum.
- Robinson, P. (1991). *ESP Today: A Practitioner's Guide*. Hemel Hempstead: Prentice Hall International.